

盛岡市まちづくり市民討議会

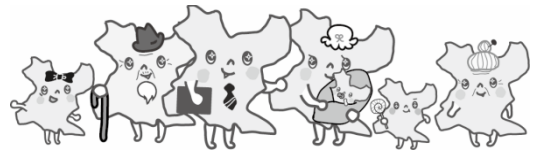
『考えよう！みんなの**タデモノ**の未来』

～共に考え・語ろう！公共施設のこれから～

市民提言書
実施報告書

2013年12月

盛岡市まちづくり市民討議会実行委員会
公共施設部会



盛岡市まちづくり市民討議会

『考えよう！みんなの**タテモノ**の未来』

～共に考え・語ろう！公共施設のこれから～

市民提言書 実施報告書



2013年12月

盛岡市まちづくり市民討議会実行委員会

公共施設部会

■ 目次

主催者あいさつ	1
序章 市民討議会の概要	2
1 実施に至った背景と開催目的	2
2 市民討議会の開催に当たって	2
3 開催概要	3
4 参加者の募り方と参加人数	5
5 討議の方法、発表と投票	6
第1章 市民からの提言	9
1 テーマ1（練習討議） 公共施設の視察を行い感じたこと。	9
2 テーマ2 公共施設の老朽化問題に、今後どのように取り組んでいくべきか。	10
3 テーマ3 地域で利用している施設を、どのように見直していくべきか。	12
4 テーマ4 全市的に利用している施設を、どのように見直していくべきか。	14
第2章 市民討議会の実施内容	16
1 テーマ1（練習討議） 公共施設の視察を行い感じたこと。	16
2 テーマ2 公共施設の老朽化問題に、今後どのように取り組んでいくべきか。	22
3 テーマ3 地域で利用している施設を、どのように見直していくべきか。	28
4 テーマ4 全市的に利用している施設を、どのように見直していくべきか。	34
参考資料	40
1 青年会議所(JC)の活動	40
2 市民討議会とは	42
3 参加者アンケート結果	44
4 その他	49

主催者あいさつ

本年10月に開催いたしました盛岡市まちづくり市民討議会「考えよう！みんなのタテモノの未来」に、多くの市民の皆様にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

本事業は、盛岡青年会議所と盛岡市が協働し、盛岡市まちづくり市民討議会実行委員会を組織し、無作為に抽出した3,000名の市民の皆様に参加依頼通知を出すというこれまでにない市民参加手法を用いて、幅広い市民の方々にまちづくりを討議していただきました。

参加者の皆様の2日間にわたる熱心な討議の内容につきましては、盛岡市のまちづくりへの提言として、市民提言書・実施報告書として取りまとめさせていただきました。

本提言書・報告書は、市民からの提言として、盛岡市長に提出させていただきます。

この提言が、関連計画等へ反映され、盛岡のまちづくりに貢献されることを心より願っております。

この市民討議会の経験は、市民の方々のみならず、我々実行委員会メンバーにとっても貴重な経験となりました。盛岡のまちづくりへの市民参加の新たな手法として、この討議会が継続的かつ発展的に生かされていくものと確信しております。

最後に、参加いただいた36名の市民の皆様をはじめ、講師やスタッフとして運営をお手伝いいただきました皆様に、多くのお力と御配慮を賜りましたことを、改めて感謝申し上げます。

2013年12月

盛岡市まちづくり市民討議会実行委員会 委員長

(一般社団法人盛岡青年会議所 理事長)

浦田 学

序章 市民討議会の概要

序章では、本市民討議会の開催趣旨や概要、討議の進め方などを記載しています。

1 実施に至った背景と開催目的

現在、高度経済成長期からバブル期にかけて建設された公共施設の老朽化が進み、全国的に問題になっています。

盛岡市においても、築50年を迎えている施設では建替えや大規模改修などの更新が始まっており、今後多くの施設で更新が必要となっています。

しかし、少子高齢・人口減少社会の進展により、税金は長期にわたり漸減する見込みであり、従来どおり全ての施設を維持し、建替えや大規模改修により更新していくことは困難な状況となっています。

そこで、盛岡市まちづくり市民討議会実行委員会では、現在、市が抱える喫緊の課題であり、幅広い市民の関心事である公共施設の老朽化問題に焦点をあて、住民基本台帳を利用した無作為抽出により選ばれた市民による「市民討議会」という手法を用いて、18歳から80歳代までの幅広い市民の参加により英知を結集して、問題解決の方法を討議し、「公共施設保有の最適化と長寿命化の計画」策定につながる「市民提言」をまとめることを目的として開催することとしました。

2 市民討議会の開催に当たって

本市民討議会は盛岡青年会議所と盛岡市の協働により盛岡市まちづくり市民討議会実行委員会を組織し実施しました。テーマ選定から当日の運営方法まで、実行委員会で議論を尽くして開催しました。

この市民討議会は無作為抽出によって選ばれた市民である参加者の意見を聞く場であるため、参加者が主体的に意見を述べられるよう、運営面で配慮するよう取り組みました。

討議の前提となる問題の所在を、参加者にも十分にご理解いただいた上で討議を行っていくために、施設の現地視察を行うとともに、施設管理者による施設の利用状況の説明や、市の客観的な数値データ等の説明、専門家による問題解決策の考え方の説明など、情報提供に多くの時間を設けて、市民討議を実施しています。

この報告書は、討議によって出された提案について、参加者全員で投票を行い主たる提案となったものをまとめています。また、出された主たる提言のみならず、各班で出されている個別の意見も大切にまとめています。

また、本討議会へ参加できなかった市民の皆様にとっても、この問題を理解する上で、有益な報告書となるような構成としています。

3 開催概要

他の市町村で開催される市民討議会の多くが土曜日、日曜日と連続した2日間での開催としていますが、本市民討議会は平日に勤めがある方でも参加し易いよう、1日目と2日目を約2週間空けて土曜日と日曜日に開催しました。

討議に当たっては、1日目は問題意識の形成に重点を置き、バスによる現地視察も含めた十分な情報提供を行った上で、

「テーマ1（練習討議） 公共施設の視察を行い感じたこと。」

「テーマ2 公共施設の老朽化問題に、今後どのように取り組んでいくべきか。」を話し合いました。

また、2日目は具体的な問題解決策を検討するため、1日目にまとめた方向性をどのように実現していくべきかを検討することとして、公共施設の老朽化問題の第一人者である専門家を招き情報提供を行った上で、

「テーマ3 地域で利用している施設を、どのように見直していくべきか。」

「テーマ4 全市的に利用している施設を、どのように見直していくべきか。」を話し合いました。

○10月12日(土)【1日目】

場所：プラザおでって 大会議室

9:30～9:45	開会式・説明
9:45～12:00	<p>現地視察①（盛岡市立大新小学校(10:10～)</p> <p>【現地説明】盛岡市立大新小学校校長 佐々木 健 様</p> <p>現地視察②厨川児童・老人福祉・地区活動センター(10:50～)</p> <p>【現地説明】同センター所長補佐兼館長補佐 石川 孝 様</p> <p>現地視察③青山二丁目アパート青山三丁目アパート(11:20～)</p> <p>【車内説明】</p>
12:00～12:45	昼食
12:45～13:50	「テーマ1（練習討議）公共施設の視察を行い感じたこと。」 話し合い・発表・投票
14:05～14:30	「テーマ2 公共施設の老朽化問題に、今後どのように取り組んでいくべきか。」 【情報提供】盛岡市まちづくり市民討議会実行委員会委員 盛岡青年会議所 理事 吉田 光晴
14:30～16:05	テーマ2話し合い・発表・投票
16:05～16:15	閉会式・事務連絡

○10月27日(日)【2日目】

場所：盛岡市アイスアリーナ 第1・第2会議室

9:00～9:30	受付
9:30～9:56	開会式・説明
9:57～10:11	<p>前回の振り返り</p> <p>【情報提供】盛岡市まちづくり市民討議会実行委員会委員 盛岡青年会議所 理事 吉田 光晴</p>
10:12～10:51	<p>「テーマ3 地域で利用している施設を、どのように見直していくべきか。」</p> <p>【情報提供】地域利用施設の再整備の観点について 日本大学経済学部教授・東京大学公共政策大学院客員教授 (国土交通省 公的不動産の合理的な所有・利用に関する研究会 座長) 中川 雅之 様</p>
11:02～12:30	テーマ3話し合い・発表
12:30～13:15	投票・昼食
13:15～13:56	<p>「テーマ4 全市的に利用している施設を、どのように見直していくべきか。」</p> <p>【情報提供】全市利用施設の再整備の観点について 日本大学経済学部教授・東京大学公共政策大学院客員教授 (国土交通省 公的不動産の合理的な所有・利用に関する研究会 座長) 中川 雅之 様</p>
13:57～15:26	テーマ4話し合い・発表・投票
15:40～15:48	閉会式・事務連絡

4 参加者の募り方と参加人数

様々な年代の方々から「生の声」をお聞きするために、市の住民基本台帳を基に18歳以上の市民の皆様の中から3,000人の方々を無作為に選出し、参加案内、参加申込書及び案内チラシを送付しました。

1日目、2日目の両日参加可能な方のみ申込可能としたにもかかわらず、募集人数40人のところに、134名もの多くの方々から参加申込みをいただきました。応募多数であったことから抽選により44名（当日までのキャンセルも勘案し定員の1割増）の方を選出し抽選結果を通知しました。

抽選方法は、参加者の世代が偏らないように、参加者申込みのあった方を10歳代から80歳代までを年代毎に分類した上で、各年代から7名（参加申込の少ない10歳代及び80歳代以上からは各1名）を抽選により選出しました。結果、男性23名、女性21名が選出されました。

仕事等によるキャンセルもあり、最終的に1日目は36名、2日目は32名の方にご参加いただきました。

●参加人数

年代	1日目	2日目
10歳代	1名	0名
20歳代	6名	5名
30歳代	5名	5名
40歳代	5名	5名
50歳代	4名	3名
60歳代	7名	7名
70歳代	7名	6名
80歳代	1名	1名
計	36名	32名

5 討議の方法、発表と投票

(1) 情報提供

まずはじめに、情報提供者から参加者全員で情報提供を受けます。

(2) グループ討議

次にグループ討議を行います。討議は7つの班（1班は概ね5名）に分かれて行います。テーマごとに班替えを行います。なお、テーマ1は練習討議であったため、テーマ1とテーマ2については班替えを行っていません。班分けは、世代比と男女比を考慮し事前に実行委員会が決定しました。

グループ討議の仕方は、参加者が各自、意見を付せんに書き、話し合いをしながら似た意見を分類していき、分類にタイトルを付け、最終的には代表意見として3つを、残したい意見として1つを上限に班内の意見集約を図ります。

グループ討議は、以下に示す話し合いのルールと役割分担を設定して行いました。

●話し合いのルール

①批判しない

良い意見が出にくくなるので、他の人の意見の批判や否定はしない。

②質より量

必ず1人1つ以上の意見を出し、より多くのアイデアを集める。

③自由で柔軟な発想

笑われるかもしれないと思ったアイデアが、実は良いアイデアだったりするので、恥ずかしがらずにどんどん意見を出す。

④他の人の意見に便乗

他の人の意見に自分のアイデアを加えて新たな発見にしたり、連想して意見を膨らませる。

⑤発言は簡潔に

時間に限りがあるので、班員の時間を使わないように要点を簡潔に話す。

●参加者の中での役割分担

- ・進行係（班内の話し合いの司会進行を行う） 各班1名
- ・発表係（まとめた意見の発表を行う） 各班1名

●グループ討議の様子
▼各人の解決アイデアを付せんに記入



▼付せんに記入したアイデアを発表



▼似たようなアイデアをまとめグルーピング



▼討議の結果を3つまとめ欄に記入

テーマ：公共施設の老朽化問題に、今後どのように取り組んでいくべきか。

作業スペース

現状分析 精査

建築・維持の
具体策

+

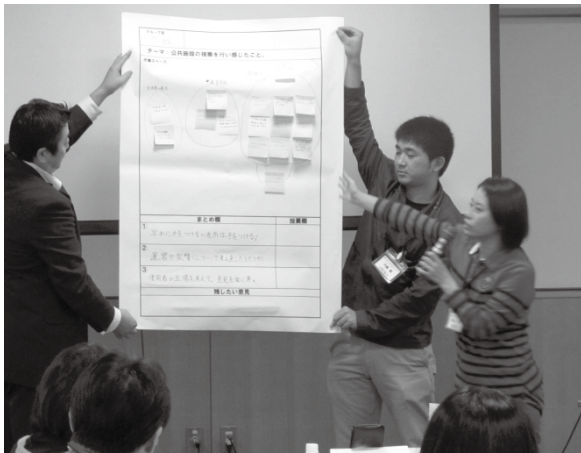
まとめ欄	投票欄
① 現状分析(施設の必要性) 必要な施設の選別、統廃合	●●●●●●●● ●●●●●●●●
② 外部委託による施設維持費の削減 とサービス向上	●●●●●●●● ●●●●●●●●
③ 生産年齢と増やすための見込みあるまち作り (市民負担の少ない納税方法など納税等の導入)	●●●●●●●● ●●●●●●●●
残したい意見 市の土地や施設は、市全体で守りたい	

10
4
11

(3) 討議結果の発表

参加者全員に対し、班毎に1分程度で、代表意見を中心に討議結果を発表します。

▼出されたアイデアを紹介



▼どのような討議がなされたかも含め発表



(4) 討議結果への投票

参加者全員が、各班の代表意見のうち、同意する意見に投票します。投票はシールで行い、1人5枚まで投票できるものとしています。1つの代表意見に複数枚貼っても良い。

▼各班の模造紙を見て投票する意見を決定し、シールを貼る

